

TOEIC Bridge® TestとTOEIC® Listening & Reading Testのスコア比較表

TOEIC Bridge® Test	90	100	110	120	130	140	150	160
TOEIC® Listening & Reading Test	230	260	280	310	345	395	470	570

スコア比較表をご覧ください際の注意事項

- この表は15,569名の日本と韓国の受験者データを基に、TOEIC Bridge® Testのスコアからそれに対応するTOEIC® Listening & Readingスコアを予測したものです。TOEIC Bridge® Testの受験者数は日本と韓国が最も多いため、両国からランダムにサンプルを抽出しています。
- 対象サンプルは2000年11月から2005年9月までの間に、TOEIC® Listening & Reading Test（以下、TOEIC® L&R）とTOEIC Bridge® Testの両方を6ヶ月以内に受験しています。受験の形態は公開テストとTOEIC® Listening & Reading団体特別受験制度の両方が含まれます。またその多くは最初にTOEIC Bridge® Testを受験し、その後にTOEIC® L&Rを受験しています。
- サンプルの平均年齢は20歳で、高校・短大・大学生が大半を占めており、高校生が全体の23%、短大生・大学生が31%となります。
- このようなリサーチにおいてはサンプルが変わると結果の値が変わることがあります。
- TOEIC Bridge® Testのスケールが20点から180点であるのに対し、上記の表で90点から160点までしか掲載されていない理由は、TOEIC Bridge® Test 160点以上及び90点未満のスコアレンジにおいては有効なデータと検証されなかったためです。TOEIC Bridge® Testでは90点未満に対しても評価できますが、TOEIC® L&Rではそのレベルに対応した問題がほとんどないため、TOEIC Bridge® Test 90点未満に対応する統計上意味のあるデータを得ることができません。またTOEIC Bridge® Testは180点まで評価することができますが、TOEIC® L&Rにはそれ以上のレベルを評価する問題が多数含まれているために、両者を比較して統計上意味のあるデータを得ることができません。そのため、TOEIC Bridge® Test 160点以上及び90点未満のスコアレンジでは比較対象として適切ではないとEducational Testing Service (ETS) が判断しました。
- 両テストの開発機関であるETSは、TOEIC Bridge® Test 150点以上のレベルにおいてはTOEIC® L&Rの方がそのレベルに適した設問が多くなることからTOEIC® L&Rの受験を奨励しております。
※ETSはTOEIC Bridge® Testの受験者の実態に即して検証を行い、これまでTOEIC® L&Rへの移行のガイドラインとしていたTOEIC Bridge® Testのスコアを160点から150点に変更いたしました(2007年8月)。

資料公開日：2006年5月

資料作成：一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

<本件に関するお問い合わせ先>

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

IIBC 試験運営センター 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル TEL (03)5521-6033

IIBC 公式サイト <http://www.iibc-global.org>

ETS, the ETS logo, PROPELL, TOEIC and TOEIC BRIDGE are registered trademarks of Educational Testing Service, Princeton, New Jersey, U.S.A., and used in Japan under license.

本資料の無断転載・複製を禁ず。